

# 猪口 邦子さん

(上智大学法学部教授、前・軍縮大使)

外国語の習得はたとえ中国語でもフランス語でもいいのですが、英語は必須です。globalization (世界規模化)の中で、どの国の人も英語を勉強しています。また、日本は無資源国なので、海外と友好関係や効果的な協力関係を保たなければ世界の中で生きのびていけません。そのためには英語での表現や接し方を身につける、語学の達人にならなければならぬということです。

国際社会ではもうひとつ、論理的に組み立てる力が重要です。これは日本語でつづけるべきです。母国語でできないことは英語でできないはずです。そして、人間の社会がどういふふうな文明社会として発展してきたのかという勉強が欠かせません。日本はここが弱いんです。

## わたしの英語勉強法

日本の国連安保理常任理事国入りの問題や、中国での反日デモがあったでしょう。今の常任理事国、中国を含む5大国は、第2次世界大戦でドイツのナチズム(ある民族を根絶やしにしてもいいという考え方)と戦って、今日の文明社会の台憲をつくらせた国々。日本はナチズムと組んだ国ですからね。まちがった相手と組んだこと。大きな犠牲を払ってナチズムをくいとめた5大国とは出発点がちがうこと。それらを認めただけで、「60年間、完全な民主社会を築くために頑張ってきたことが過去を悔んでいる証し。誠実な歩みを認めたい」と言わなくては常任理事国入りを説得できません。

今のは一例ですが、自分の立場を大声で説明できるというだけではなく、社会の考え方の進歩の流れを理解して論理を組み立てないと、政治でも外交でも商談でも相手を説得する

## 表現 + 論理的に組み立てる力を

る力が出ないんです。英語だけじゃないということね。中学では社会文明史を学ぶべきですね。

留学は機会があれば、安全に気をつけてせひ。まず文明史や社会発展史が学べる。みんなが存在をかけたゆずれないと思ってる価値とはどんなものか、海外に出るとわかります。英語は、ネイティブスピーカーの中で自分をさらしていいという訓練によって、上達すると思います。発言の機会も多く、本場に集



二〇〇三年、アフリカ、国連事務総長と(猪口さん提供)

中的に真剣に勉強することになりま  
すから。  
(聞き手・佐々木道子) = おわり  
◇  
次回からは、津軽三味線奏者の上  
妻宏光さんです。

いのがち・くにご 1952年、千葉県生まれ。上智大学卒業後、米国立エール大学大学院博士課程修了。政治学博士。2002～04年、軍縮会議日本政府代表部特命全権大使(軍縮大使)として国連軍縮会議議長などを訪めた。今年2月から、第3期中央教育審議会(中教審)委員。著書に『戦略的平和と思考—戦場から議場へ—』など